

平成29年度
参観者 感想集

七ヶ浜町教育委員会

英語コミュニケーション
授業参加者集約用紙

【七ヶ浜町立亦楽小学校】

No.	参観日	参観数	団体名	主な懇談内容
	4/22(土)	78名 授業 公開 学年 2,3,6年	亦楽小保護者 (学習参観日)	<p>○PTA 総会での校長の学校経営説明と学年・学級懇談会で各担任より保護者へ英語コミュニケーション教育について説明。 (懇談会の話題)</p> <p>① 思ったより難しいことを低学年でもしっかりできていることに驚いた。</p> <p>② 子供たちが盛り上がって楽しんでいた。</p> <p>③ こんな授業が始まるのかと時代の変化を感じた。</p> <p>④ 家に帰ってくると親に英語で話しかけてくるので得意なんだろうと思う。</p> <p>⑤ 中学生までこの楽しさが続けばいいなと思った。(自分が中学校で英語がまったくわからなかったから)</p>
2	6/9(金)	4名 授業 公開 1年	学校評議員 (学校評議員会)	<p>① 楽しみながら学ぶと吸収が良い。</p> <p>② 日本人の先生が教えるよりも外国人の先生が教える方が良い。(ネイティブな発音等)</p> <p>③ 継続することで外国人と会ったときの抵抗がなくなるのではないか。</p> <p>④ 自分もこんな英語の授業を受けてみたかった。</p> <p>⑤ 幼いながら英語でコミュニケーションをとろうとしている子供がたくさんいて驚いた。全員が挙手していた。</p> <p>⑥ Q 学習内容は誰が考えるのか? A 先進校の実践を基に、町の英語コミュニケーション推進委員会で指導計画の原案を作成して各校で実</p>

				践している。
3	6/20 (火)	27名 授業 公開 学年 1,3,6年	蔵王町英語特区申請 準備委員会 ※ 蔵王町教育委員会 蔵王町立小中学校 校長, 教頭, 教諭	<p>① これまで様々な英語の研究校などで授業を参観してきたが本日の英語コミュニケーションの学習が一番印象的な授業であった。</p> <p>② 「明るく 楽しく 面白い」英語コミュニケーションの取組が軌道に乗っている様子が子供の活動の様子から垣間見られた。</p> <p>③ 聞く力が育っているのを感じた。コミュニケーション場面が多くあり,児童のエネルギーを感じた。町の人づくりになると感じた。</p> <p>④ 英語コミュニケーションが日々の学級の仲間づくりにもよい影響を与えていくものだと感じた。</p> <p>⑤ どの学年も子供たちが生き生きしていた。</p> <p>⑥ 担任から英語を楽しもうとする姿勢が伝わってくる。これは確実に子供にも伝わり学級全体が楽しい雰囲気になると思った。</p> <p>⑦ 日本人教師もALTも授業づくりの努力と心身のエネルギーが高いと感じた。授業が柔軟で日本語を使用すべきところはしっかり日本語をおさえていた。</p> <p>⑧ 七ヶ浜町の英語コミュニケーションの考え方が今日的な子供の課題によりそったものだと感じた。</p> <p>⑨ Q ALTをT1にする際の配慮は? A T2の日本人担任教師がマネジメントしている。</p> <p>⑩ Q ALTが変わると支障はないのか?</p>

				A C I Rを含めた5人の外国人を柔軟に活用している。また、新しく入れ替わったときには各学校でA L Tを指導・助言している。同僚として働きやすい環境作りに努めている。
4	6/28(水)	4名 授業公開 学年 1年	教育事務所長等の 学校訪問 宮城県教育委員会仙台 教育事務所の所長と指 導主事等	① エネルギッシュで楽しい授業だった。 ② 1年生の集中力が素晴らしい。 ③ 1年生が4回目の授業であるにもかかわらず、よく分かって活動していた。
5	7/7(金)	89名 授業公開 学年 2,3,5,6 年	亦楽小保護者 (学習参観日)	(懇談会の話題) ① みんな笑顔で楽しく学んでいる様子がうかがえた。 ② テレビのCMのような一斉の学習ではなく、一人一人が会話していた。 ③ 自分の子供は、まだ自分から英語を話せていないようだったが、今後が楽しみ。
6	9/28(木)	12名 授業公開 学年 1,3,5年	町区長会 民生委員・児童委員 学校支援ボランティア	① 一人一人の子供が、楽しそうに学んでいた。 ② 七ヶ浜町の取組は素晴らしい。継続することで、英語でコミュニケーションを図れる子供(大人)になると思う。 ③ 自分も小学校や中学校で外国人の先生から学べる機会があったら、もう少し英語が話せるようになっていたと思う。
7	10/5(木)	1名 授業公開 学年 1年	北海道枝幸郡 中頓別町町長	○岩沼市で行われた会議のため来県し、あわせて七ヶ浜町の英語コミュニケーションを視察 ① 東日本大震災後の沿岸部の市町村の子供の課題について、様々な書籍や報告書で理解するよう努めてきた。また中頓別町は少子化の速度が速く教育政策は喫緊の課題と捉え英語教育の

				<p>必要性を感じていた。</p> <p>② 道内で日本人が主となってやっている何校かの授業を見てきたが、七ヶ浜の英語コミュニケーションはインパクトがまるで違う。当たり前のことだけれどもネイティブの英語に早くから慣れ親しむことは子供にとって最高のものと感じた。</p> <p>③ 「明るく楽しく面白く」という部分でぶれないで続けられたら成果が出てくるものと感じた。</p>
8	10/19(木)	3名 授業 公開 学年 2,3,5年	<p>光村図書本社編集本部 英語課編集長 他</p> <p>※平成32年度の新学習指導要領本格実施に係る「小学校外国語科(高学年)」の教科書作成の参考となる実践を求め、小学校段階で英語教育に取り組んでいる学校を全国から抽出し来校</p>	<p>① 何より子供たちが楽しく学習していることが素晴らしい。</p> <p>② 子供同士がのびのびと間違いをおそれず、どんどん英語を使って発表できる授業構成は教科書作成上参考となった。</p> <p>④ 全国には七ヶ浜町より時数・内容とも高度な英語教育を展開している研究校や大学の附属小がいくつかあり、視察してきたが、「子供が楽しく学んでいる」という観点と「コミュニケーションへの意欲」という観点では、他校に比して七ヶ浜町の取組にこれからの小学校英語に求められるものがあると感じた。この点でも教科書作成に参考となる取組ととらえている。</p> <p>⑤ T1のALTとT2の担任教師の指導のバランスがよく、子供たちはT1のネイティブな英語をよく聞きながら、テンポよく活動できていた。T1の指導面での活動量が確保されており、授業中の英語量が充分と感じた。</p> <p>⑥ 七ヶ浜町が「英語を通したコミュニケーション力の育成」を掲げて「英語コミュニケーション」の文部科学省の特</p>

				<p>例校となったメリットを十分に生かしていることがよく分かった。</p> <p>⑦ 小学校から中学校への接続の点で、中学校の「書く」活動で英語嫌いが増えていくことが分かっているが、今日の授業のように5年生の段階から「ローマ字」と「英語」の違いを体験的に慣れ親しんでいけば、この課題をクリアできる子供が増えると感じた。</p> <p>⑧ 「明るく 楽しく 面白く」の町共通のキーワードは「小学校英語」のキーワードとして最も有効なものと感じた。</p>
9	10/26(木)	10名 授業公開 学年 2,3,5年	福島県矢吹町議会議員 団 教育委員会	<p>① 七ヶ浜町の教育政策がぶれない姿勢で行われていることがわかった。</p> <p>② 何よりも子供たちの姿から楽しく学んでいる様子がうかがえたことが素晴らしいと思った。</p> <p>③ 矢吹町での取り組み方の参考となった。</p>
<p>以上 平成29年4月9日から平成29年11月8日現在</p> <p>教育関係者・議員等 45名 保護者・地域の方 183名 合計 228名</p>				
10	11/16(木)	20名 授業公開 学年 2,6年	町スポーツ推進委員 公民分館長 町体育協会 社会教育委員 町更生保護女性会 町婦人会	<p>① 小さい頃から外国人の話すきれいな発音の英語に触れるのは大変よい。2人の先生のやりとりから子供との一体感も感じられた。</p> <p>② この授業なら子供は飽きずに楽しく学べると思った。伸び伸びと学んでいた。</p> <p>③ 1年生の孫が家でも英語を口にしている。2年生も6年生もとても楽しそうに学んでいた。最初は「楽しい、型にはまらない授業」がよいと思う。</p>

11	2/15(木)	79名 授業公開 学年 1,4,6年	亦楽小保護者 (学習参観日)	<p>④ ALTの先生の声が少し小さいのが気になったが、子供たちは受け答えができていた。</p> <p>⑤ 授業を見る前は、英語学習についていけない子供がいるのではと心配したが、杞憂に終わった。子供にとって「楽しさ」から英語の学習に入るのは間違いではないことを認識できた。</p> <p>⑥ 6年生は外国人の先生と直接英語で対話していてすごい、そしてうらやましいと思った。</p> <p>⑦ 町内のスーパーで外国人に積極的に話しかけている小学生を見た。英語コミュニケーションのよい影響だと思った。</p> <p>⑧ 低学年は臆せず体中で英語を受け止め楽しんでいた。高学年は進んでコミュニケーションをとっていた。</p> <p>① 授業は子供たちが楽しんで学習できるように工夫されていた。小さい頃から外国人の先生と接し、学習できる環境にある子供たちを見て恵まれていると感じた。</p> <p>② 子供たちがとても生き生と笑顔で授業を受けていた。七ヶ浜町で英語コミュニケーションを取り入れてもらってよかった。</p> <p>③ 何より子供たちが楽しんで英語の授業を受けていることが感じられ大変よかった。</p> <p>④ 音楽やゲームを通して英語を楽しむように学ぶ子供たちを見て、見ている自分も楽しくなりました。</p> <p>⑤ 1年間でどの程度英語を習得するのが目標なのか知りたい。</p>
----	---------	---------------------------------	-------------------	---

12	3/1(木)	5名 授業 公開 学年 2.5年	<p>光村図書東北支社長 同本社広報課2名 制作ディレクター1名 カメラマン1名 計5名 ※平成32年度の新学習 指導要領本格実施に係 る「小学校外国語科(高 学年)」に関する取材。 同社発行の「英語教育 相談室」の取材。 「授業づくり」の参考となる 実践を求め、小学校段 階で英語教育に取り組ん でいる学校を全国から抽 出し来校。 ※発行予定平成30年6 月1日</p>	<p>⑥ 早い段階から「英語は楽しい」と感じ られたら、子供の英語嫌いは少なくな ると思う。</p> <p>① 教育行政の自立している姿を初めて 見た。町長部局と教育委員会が理念だ けでなく、施策の細部まで共通理解の もと進めている例はこれまでの編集 歴ではない。文部科学省が求めている 地方の自立した教育行政はこの町の ようなことだと思った。午前中に校 長、午後から授業者2名にインタビュ ーしたが、一般教諭のレベルでも町の 施策について校長同様のことを話し ていた。1年間でよく浸透しているこ とに感心した。</p> <p>② ALTの活躍のさせ方が際立っている。 どうすればあのように生き生きと ALTが授業できるのか本誌発行後は、 関心が高まると思う。七ヶ浜の各学校 がALTを育てる観点をもっているこ と、職員室で同僚性を育てていること などは他県にない視点だと思われた。</p> <p>③ 明るく楽しく面白い、は、子供の表情 からよくわかった。(カメラマン) 楽 しく学ぶ子供は全国どこでも同じよ うな目になることを感じた。</p> <p>④ 子供たちの発音が違ってきているの がわかる。</p> <p>⑤ 学級づくりを通して英語のコミュニ ケーション力がつくのか、その逆な のかということではなくどちらも同 時についていくことが観察された。</p> <p>⑥ 他の教科においてもこの活動をと おした学び方を身につける子供が増 えていくと感じる。</p>
----	--------	------------------------------	--	---

以上 平成29年11月9日から平成30年3月9日現在

教育関係者・議員等 5名 保護者・地域の方 99名 合計 104名

以上 平成29年4月から平成30年3月

教育関係者・議員等 50名 保護者・地域の方 282名

合計332名